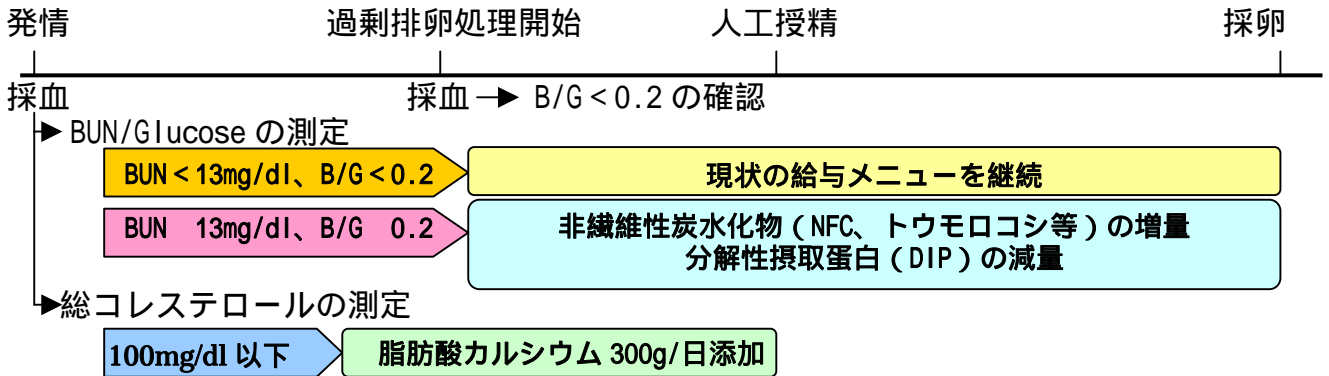


正常卵率向上のための飼料給与プログラムと血液検査指標値

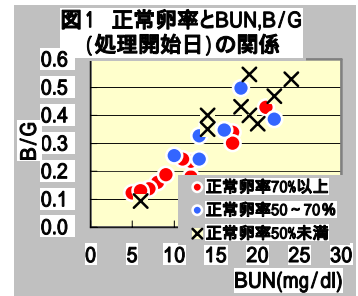
【1 成果の要約】

1 供卵牛の血液検査、給与プログラム



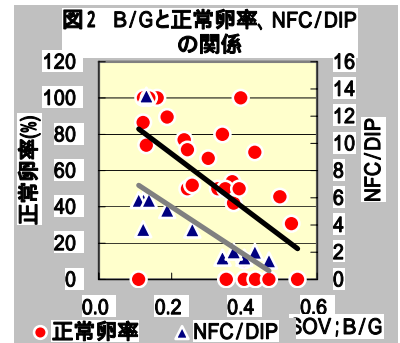
注 B/G ; BUN (血中尿素態窒素) / Glucose (血糖値) 比

- 過剰排卵処理開始日に、BUN < 13mg/dl、B/G < 0.2 を示す牛で、正常卵率 70%以上の割合が増加します(図1)。
- 過剰排卵処理開始日の B/G は、給与飼料中の非繊維性炭水化物 / 分解性摂取蛋白の比率 (NFC/DIP) を反映し、正常卵率の指標となります(図2)。
- 過剰排卵処理開始前の発情日から、非繊維性炭水化物 / 分解性摂取蛋白比が、5.0 以上の飼料に変更すると処理開始日の BUN、B/G を適正值に改善することが可能です。



【2 効果】

上記の血液検査、給与プログラムにより、BUN、B/G を適正值に調整した牛は、対照区に比べ正常卵数、正常卵率が有意に高くなりました。



	頭数 (頭)	SOV ; BUN (mg/dl)	SOV ; B/G	回収卵数 (個)	正常卵数 (個)	A~Bランク卵数(個)	正常卵率 (%)
試験区	8	7.6 ± 2.4	0.16 ± 0.05	16.8 ± 12.2	12.5 ± 10.3 a	10.5 ± 8.0 a	72.5 a
対照区	7	18.1 ± 4.6	0.40 ± 0.05	13.1 ± 9.5	4.7 ± 3.4 b	3.7 ± 3.0 b	38.9 b

SOV; 過剰排卵処理開始日、ab 間に有意差あり (P < 0.05)

【留意事項】

- この成績は黒毛和種での成績です。
- 血中尿素態窒素はスポットケム(アークレイ)、血糖値はフリースタイルキッセイセンサー(ニプロ)により測定した値であり、測定方法により異なる値を示すことがあります。
- 血中尿素態窒素、血糖値は採食後上昇するため、値が安定する採食4時間後に採血した成績です。
- B/G < 0.2 であっても CP 充足率が 86% 以下の牛では正常卵率の低下が認められました。